

山名以原沙在舟中亦不望

丑二月廿六日

室名

御用新

御用書

川橋
永次
伊三郎
中宿
七人

原者け夜舟下り順日船渡業上り

三月廿二日午場不出帆仕合入時亦不望

滑石粉和法名世服沙在事十以上

丑二月

大藏院
印

佛用所

南唐書

發之
夕ウコケ
手
カウクウ
ハセウク
ン

右之者見西上因順海子臨
為於同冬之在哉在凡今日